

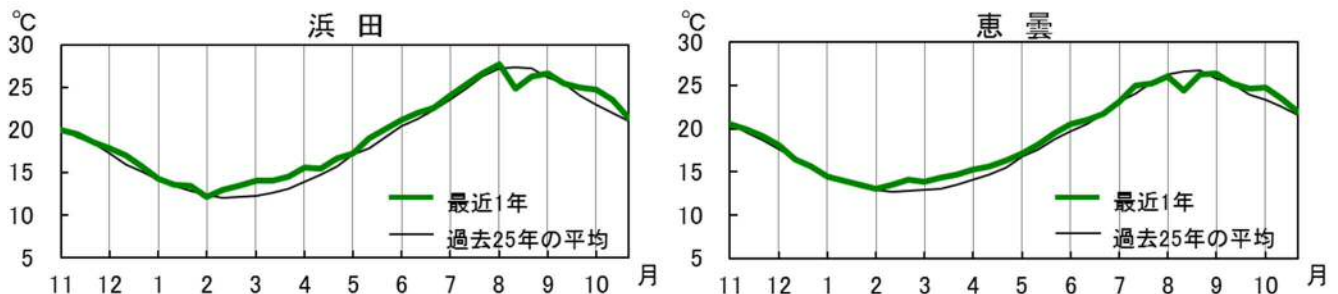


(本誌はホームページでもご覧いただけます。)

<https://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/>

(TEL 0855-22-1720)

## 《10月の海況》



10月	浜田			出雲		
	評価	平均	平年差	評価	平均	平年差
上旬	かなり高め	23.1°C	+1.1°C	かなり高め	23.2°C	+0.8°C
中旬	かなり高め			やや高め		
下旬	平年並み			平年並み		

## 《10月の漁況》

### 【中型まき網漁業】

浜田地区ではマアジ、サバ類主体の漁況でした。魚種別の漁獲量の動向は、マアジは平年並み、サバ類は平年の3割でした。隠岐地区ではマアジ、マイワシ、ブリ主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は38.2トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、マアジは1,188トンで平年の1.3倍、マイワシは1,121トンで平年の6割、ブリは1,085トンで平年の1.2倍でした。

### 【イカ釣漁業】

浜田地区(属地5トン以上)ではケンサキイカ(全体の99%)が主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は46.2kgで平年を下回りました。西郷地区(属人5トン以上)ではスルメイカ(全体の100%)が主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は56.4kgで平年並みでした。

### 【沖合底びき網漁業】

浜田地区ではキダイ、アナゴ・ハモ類、マトウダイを主体に、1統1航海当りの漁獲量は12.8トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量は、キダイは平年の1.0倍、アナゴ・ハモ類は平年の9割、マトウダイは平年の2.2倍でした。その他、アカムツは平年の2.2倍、アンコウ類およびヤナギムシガレイは平年の1.7倍、スルメイカは平年の1.5倍、マダイは平年の1.1倍であった一方、マアジは平年の9割、ムシガレイは平年の6割の水揚げでした。

### 【小型底びき網漁業】

大田地区(和江・久手)ではアンコウ類、ソウハチ、アナゴ・ハモ類主体の漁況で、総漁獲量は334トンでした。1統1航海当りの漁獲量は858kgで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、アンコウ類は平年の1.1倍、ソウハチは平年の5割、アナゴ・ハモ類は平年の9割でした。その他、マトウダイは平年の2.6倍と好調でしたが、スルメイカは平年の1.1倍、ニギスは平年の1.0倍、キダイは平年の8割、マダイは平年の8割、ムシガレイは平年の6割の水揚げでした。

### 【定置網漁業】

出雲地区ではサバ類、マアジ、ウルメイワシ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は40.1トンで平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、サバ類は平年の1.2倍、マアジは平年の1.4倍、ウルメイワシは平年の36.8倍でした。石見地区ではサバ類、マアジ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は37.2トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、サバ類は平年の1.4倍、マアジは平年の1.5倍でした。隠岐地区ではマイワシ、ブリ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は14.5トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、マイワシは平年の1.8倍、ブリは平年の8割でした。

### 【釣・縄】

出雲地区ではアマダイ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は18.7kgで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、アマダイは平年の1.2倍でした。石見地区ではヒラマサ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は19.8kgで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、ヒラマサは平年の1.1倍でした。隠岐地区では、カサゴ・メバル類主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は17.1kgで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、カサゴ・メバル類は平年の1.5倍でした。

## 【令和3年10月の漁獲統計】

漁業種類	地区	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1隻(統)1航海当り漁獲量)			漁模 様
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %	
中型まき網	浜田	マアジ、サバ類	—	—	—	—	—	—	—
	隠岐	マアジ、マイワシ、ブリ	5,465トン	112%	84%	38.2トン	94%	69%	▲
イカ釣り (5トン以上)	浜田	ケンサキイカ	4.0トン	1306%	21%	46.2kg	225%	52%	▲
	西郷	スルメイカ	2.3トン	157%	44%	56.4kg	90%	116%	○
沖合 底びき網	浜田	キダイ、アナゴ・ハモ類、マトウダイ	255トン	81%	87%	12.8トン	77%	90%	▲
小型 底びき網	大田	アンコウ類、ソウハチ、アナゴ・ハモ類	334トン	77%	77%	858kg	88%	102%	○
定置網 (大型)	出雲	サバ類、マアジ、ウルメイワシ	521トン	122%	125%	40.1トン	122%	125%	◎
	石見	サバ類、マアジ	149トン	207%	130%	37.2トン	207%	127%	○
	隠岐	マイワシ、ブリ	43.5トン	139%	70%	14.5トン	139%	67%	▲
釣り・縄	出雲	アマダイ	19.4トン	95%	50%	18.7kg	90%	55%	▲
	石見	ヒラマサ	31.9トン	144%	100%	19.8kg	131%	101%	○
	隠岐	カサゴ・メバル類	13.9トン	64%	47%	17.1kg	90%	72%	▲

※ 平年比：過去5年（沖底のみ10年）の平均値との比較 漁模様（CPUE）：◎が平年以上、○が平年並み、▲が平年以下

※ 大型定置網漁業のCPUEは1経営体当り漁獲量を示す。

※ 水温の評価「はなはだ○○」：約20年に1回の出現確率である±2℃程度の高さ  
「かなり○○」：約10年に1回の出現確率である±1.5℃程度の高さ  
「やや○○」：約4年に1回の出現確率である±1℃程度の高さ  
「平年並み」：約2年に1回の出現確率である±0.5℃程度の高さ